

薬草園の歳時記 07冬

新潟薬科大学附属薬用植物園では、常時薬用植物を展示栽培しています。薬草園の歳時記は薬用植物園内の様子を随時、植物を中心に紹介するものです。

吹く風は冷たいものの、例年にない暖冬で薬草園には積雪がありません。いつもの冬なら雪の下になって見られない植物たちも、今年ばかりは冬の姿がよく見ることができます。屋外及び温室内で現在開花・結実している薬用植物を紹介します。

- スイセン：むくみ、乳腺炎
- ツワブキ：健胃、殺菌消毒
- ハマユウ：皮膚潰瘍
- ニチニチソウ抗悪性腫瘍
- トウガラシ辛味性健胃
- コーヒーノキ：カフェイン原料



①スイセン



②ツワブキ



1月23日撮影



③ハマユウ



④ニチニチソウ



⑤トウガラシ



⑥コーヒーノキ



バナナで勝つ！

温室のサンジャクバナナに実がなりました。サンジャクバナナは背が高くないため「三尺」バナナの名前がついたとか。バナナにはたんぱく質、ビタミンB2、カリウム、ペクチン、クエン酸が含まれ、がん予防、高血圧予防、便秘予防、下痢予防、疲労回復などの効用があります。消化のよい高エネルギー食品なので、運動や試験の前に食べると勝てるかも？！

お知らせ

薬用植物園の目録（簡易版）ができました。ご希望の方は薬用植物園管理棟までご連絡ください。

発行
新潟薬科大学附属薬用植物園
管理棟 TEL0250-25-3601

開園 9:00-17:00
閉園 土・日曜日及び大学休日

お気軽にお立ち寄りください！